

令和7年度 ロシア・中央アジア地域等情報収集・提供事業
 2. 中央アジア地域等投資環境整備・ビジネス振興事業
 (4) 産業育成ビジネスマッチング事業 派遣型ビジネスマッチング事業

「アルメニア・ワイナリー視察ミッション」
 事業報告書

2025年11月
 (一社)ROTOBO

1. 事業目的と内容

本事業は、日本と中央アジア等地域との間の貿易・投資関係の発展と、対象国の産業多角化ならびに市場経済化促進に資することを目的とする「中央アジア地域等投資環境整備・ビジネス振興事業」の一環である。

コーカサスの一国、アルメニアでは、近年、欧州や米国市場を中心にワイン輸出が拡大しており、同国の伝統的産業の一つとしてワイン産業の振興が国家戦略上も重視されている。古代から続くワイン醸造の歴史や土着品種の多様性を活かしながら、品質向上やブランド力強化に向けた取組が進められており、日本を含むアジア市場への輸出拡大にも強い関心が寄せられている。

こうした状況を踏まえ、本事業では、同国経済省が管轄するアルメニア・ワイン基金の協力を得て、日本とアルメニアのワイン産業分野におけるビジネス連携の可能性を探ることを目的に、令和7年10月26日(日)～11月2日(日)の日程で、現地に視察ミッションを派遣した。ミッション期間中は、アルメニア・ワイン基金との面談を通じて、同国全体のワイン産業の歴史と発展の経緯、土着品種や伝統製法などの特徴を理解した上で、主要なワイン生産地であるコタイク地方、ヴァヨツ・ゾール地方・アラガツォトン地方を中心に生産者を訪問した。自然派ワインや家族経営の小規模ワイナリーから、大手の近代的設備を備えるワイナリーに至るまで幅広く訪問し、生産体制や輸出戦略に関する意見交換を行った。また、現地ワインの品質や特徴について専門家(ソムリエ)によるテイスティング評価も行き、日本市場への適応可能性を確認した。これらを通じて、日本におけるアルメニア・ワインのさらなる認知向上と市場開拓に向けた今後の協力の可能性を検討する機会となった。

2. 派遣期間および日程：2025年10月26日(日)～11月2日(日) 8日間

	日付	時間	日程		宿泊地
1	10/26 (日)	14:55 19:30	モスクワ出発便		エレバン／機中
			モスクワ(SVO)発(SU1862) エレバン着 ※空港→宿舎移動(事務局手配車)	23:30 羽田発(QR4851)	
2	10/27 (月)		05:50 20:05	ドーハ着 ドーハ発(QR285)	エレバン
3	10/28 (火)		00:15	エレバン着 ※空港→宿舎移動(事務局手配車)	エレバン
		13:00-14:40 15:20-17:30	【ビジネスマッチング1日目:エレバン市およびアルマヴィル地方】 ■アルメニア・ワイン基金(面談・同基金プレゼンテーション) 住所: 5 Mher Mkrtchyan, Yerevan 面談: Zara MURADYAN 総裁 Hayarpi SHAHINYAN 国際プロジェクト専門家 ■Alluria Winery視察 住所: Vagharshapat, Margara highway 6/6, Armavir Region 対応: Samvel MACHANYAN 創設者 Alisa SARGSYAN ワイナリー案内ガイド		

		18:30-21:45	■Ijevan Wine and Brandy Companyテイスティングルーム訪問 住所: 9 Saryan, Yerevan 対応: Martin MARTIROSYAN 社長 Vradimir SAFARYAN ワイン醸造責任者			
4	10/29 (水)	09:30-14:00	【ビジネスマッチング2日目:コタイク地方】 ■Manukyan Wine Brandy Company視察 住所: 10/1 Karmir Banakayinneri, Balahovit, Kotayk Region 対応: Tigran HOVHANNISYAN コマーシャルディレクター Arus TADEVOSYAN 醸造家 Anna MINASYAN ガイド		エレバン	
		14:30-17:30	■Gevorkian Winery視察 住所: 40a Acharyan St., Yerevan 対応: Vahagn GEVORKIAN 創設者/社長			
5	10/30 (木)	11:40-13:30	【ビジネスマッチング3日目:エレバン市およびヴァヨツ・ゾール地方】 ■KRYA Winery視察 住所: 1 House, 18th St., Vernashen village, Vayots Dzor 対応: Tatevik GABRIYELIAN 創設者/醸造家		エレバン	
		13:55-16:10	■アレニ洞窟およびノラヴァンク修道院の見学 対応: Boris GASPARYAN 考古学専門家 Arsan NAZARYAN ワイン醸造家			
		16:30-18:00	■HIN ARENI Winery視察 住所: H40, Areni 3604, Vayots Dzor Region 対応: Narine HAYRAPETYAN ガイド			
		20:00-22:10	■Vedi Alco Companyテイスティングルーム訪問 住所: 15a Pushkin str., 4th office, Yerevan 対応: Gagik POGHOSYAN マーケティングマネージャー			
6	10/31 (金)	11:00-14:15	【ビジネスマッチング4日目:アラガツォトン地方】 ■Voskevaz Wine Cellar視察 住所: 19 b., 8 st., v. Voskevaz, Aragatsotn region 対応: Meli Hovhannisyan ガイド		エレバン	
		15:00-17:15	■Van Ardi Winery視察 住所: Sasunik Village, Aragatsotn Region 対応: Arpi MURADYAN ガイド			
		17:30-20:30	■Armenia Wine Company視察 住所: 3 Bild., 1 Dead-end, 30 Street, Sasunik Village, Aragatsotn Region 対応: Gohal MKRTCHYAN ガイド			
7	11/1 (土)	11:45	空港へ移動(事務局手配車)	00:15	空港へ移動(事務局手配車)	機中
		14:25	エレバン発(SU1865)	03:00	エレバン発(QR286)	
		16:55	モスクワ(SVO)着	05:00	ドーハ着	
				09:10	ドーハ発(QR4850)	
8	11/2 (日)			01:00	羽田着	

■宿泊先

◇ホテル「アニ・プラザ」(Ani Plaza Hotel)

URL: <https://anihotel.com>

住所: 19 Sayat-Nova Ave, Yerevan

電話: (+374-10) 565 343



ぶどうを吊るして干す伝統製法「カハニ」



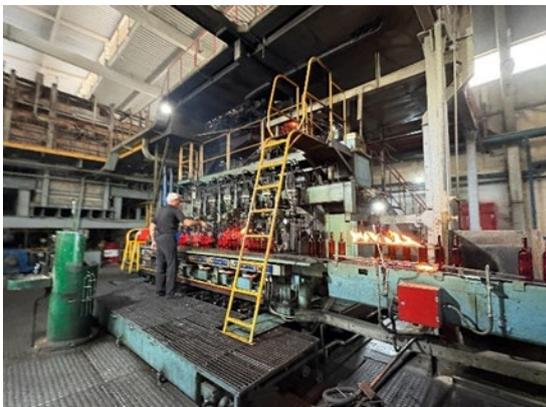
粘土製の甕「カラス」でワインを熟成する様子



世界最古のワイン醸造所遺跡「アレニ1号洞窟」



土着品種「アレニ」の一大産地ヴァヨツ・ゾールに位置するKRYA Wienerの畑



Manukyan Brandy Companyのワインボトル製造工場



お土産用にも人気のザクロワイン



HIN ARENI Winery工場内に並ぶナゴルノ・カラバフ産の樽



国内最大のワイン製造会社 Armenia Wine Companyの工場内

「アルメニア・ワイナリー視察ミッション」 視察先一覧

2025年11月12日時点

	組織・会社名	組織概要
1日目：10月28日（火）		
1	アルメニア・ワイン基金 	2016年に同国におけるワイン産業の効率的な発展および新しい発展プログラムや国家戦略導入を目的に、アルメニア政府（経済省）によって設立された国家機関。 公式サイト： https://armwinetour.am
3	アリュリア・ワイン (アグロ・マネージメント) 	エレバン郊外に所在。ブランド名は「アリュリア・ワイン」。家族経営のワイナリーで「アリュリア」という名前は先祖の出身地である村のそばを流れていた川の名前に由来する。創業家マチャニャン一家の何世紀にもわたるワイン作りの伝統を受け継いだ自然派ワインが魅力。製造において可能な限り自然発酵を採用し、酸化防止剤の添加も極力抑えられている。顧客が自分のワインを好きなだけ保管できる無料サービスは訪問者から人気が高い。日本へも輸出されている。 公式サイト： https://alluria.wine/
3	イジェワン・ ワインブランデー工場 	北部タヴシュ地方に位置するワイン・ブランデー工場。1951年創業。創業当初は様々な種類のワイン、コニャック、シャンパンを製造していた。ソ連崩壊後の1996年に民営化され、大規模な改修と現代的なラインの導入が行われた。工場には、ヨーロッパでワイン学の学位を取得した専門家が多数在籍。所有するブドウ畑は3000ha以上。現在は飲料以外にも、フルーツペーストや缶詰、ドライフルーツ等も製造している。製品はロシア、バルト三国、米国等へ輸出されている。 公式サイト： https://www.ijevangroup.am/
2日目：10月29日（水）		
1	マヌキャン・ブランデー 工場 	エレバン-セヴァン高速道路沿いのコタイク地方の中心部にあるイーグル像の正面に位置する。1989年に設立されたガラス容器工場から発展し、現在は主にワインメーカーとして国内外で名を馳せている。古代のアルメニアのワイン醸造の伝統を守りつつ、ヨーロッパ製の最新設備を完備している。熟成にはアルメニア産だけでなく、米国産やフランス産のオーク樽を使用。土着品種「アレニ」の魅力を経験的な方法で引き出した多種多様なワインやフルーツブランデー、ザクロワインが美味。 公式サイト： http://www.manukyanbrandy.am/en/wine
2	ゲヴォルキヤン・ ワイナリー 	エレバン郊外でアルメニア固有のブドウ品種および果実類を使用したワインを製造している。古代から続くワインづくりの伝統を受け継ぎ、かつて忘れ去られていたアルメニアの「カニ製法」（干しぶどうからワインを造る方法）を用いて、洗練されたワインを生み出している。アイスワイン製造においては、ドイツの伝統を適用している。また、幅広い果実酒やベリー種を提供しており、フルーツワインの独特なパッケージは特許を取得している。安全性を確保するための国家規格である「ISO22000」を取得し、国際市場にも広く展開している。 公式サイト： https://gevorkianwinery.com/ru

3日目：10月30日（木）		
1	クリヤ・ワイナリー 	<p>スイスでワイン醸造を学んだアルメニア人とドイツ人の夫婦が2017年にアルメニアに移住し、ヴァヨツ・ゾールで創業した家族経営のプティックワイナリー。徹底したオーガニック農法を用いて地元の畑で育てた土着品種のブドウだけを使い、欧州の技術を用いて、様々なワインを生産している。</p> <p>公式サイト：https://www.facebook.com/Kryawines</p>
2	ヒン・アレニ  HIN ARENI VINEYARDS	<p>南部ヴァヨツ・ゾール地方にて、2013年にカラペチャン家によって設立された。最新の技術と伝統的なワイン醸造の手法を組み合わせた製造法を採用しており、イタリアとフランスから最新設備を導入している。赤ワインは国産のオーク樽で熟成させている。ワイナリーは年間250 t以上のブドウを加工することができる。ワインは全て単一品種で作られており、使用されるのはアルメニアの固有品種である「アレニ」と「ヴォスケハット」のみである。</p> <p>公式サイト：https://hinareniwine.am/</p>
3	ヴェディ・アルコ社 	<p>工場は1938年に創業。当時は同国最大手のコニャック製造メーカーのための原料ワインを製造していたが、ソ連崩壊後に本格的に市場に参入した。アルメニアにおけるワイン造りの何世紀にもわたる経験と伝統を受け継ぐ同社は、フランス人醸造家の手により新たなワインを生み出すなど、新分野にも挑戦している。ワインの他、フルーツブランデー、高級ブランデー、フルーツワインなども製造する。</p> <p>公式サイト：https://vedi-alco.am/</p>
4日目：10月31日（金）		
1	ヴォスケヴァス・ ワインセラー  VOSKEVAZ WINERY	<p>アルメニア最高峰アラガツ山の麓に位置するワイナリー。1932年に設立され、現在はホヴァニシャン一家が経営している。地元のブドウ品種のみを使用し、古くからワインの発酵と熟成に使用されてきた「カラス」（粘土製の甕）を使った製造法と、近代的なワイン製造技術の両方を用いている。甘口ワインの生産においてはパイオニア的存在であり、ブドウを吊るして干し風味を凝縮する「カハニ」製法を復活させた。ワイナリー一帯は古い町並みを再現した建物が立ち並び、観光施設としても話題を呼んでいる。日本へも輸出されている。</p> <p>公式サイト：http://www.voskevaz.am/</p>
2	ヴァン・アルディ・ ワイナリー  VanArdi	<p>アルメニア西部のアラガツトウン地方に位置する、創設者のムラジャン氏とその家族が経営するワイナリー。有機農法で栽培したアルメニア固有のブドウ品種を使用し、人の手による介入を最小限にした製法を取る。積極的に輸出も行っており、北米、ロシア、北欧、中東欧等に輸出している。また、アルメニア初のプティックワイナリーとして、同国のワイン復興をけん引する存在。音楽やアート、ダンス等の文化体験とワインを楽しむイベントを日々開催し、アルメニアのワインツーリズムの発展へ貢献している。</p> <p>公式サイト：https://www.vanardi.com/</p>
3	アルメニア・ワイン・ カンパニー  ARMENIA WINE	<p>2006年にブドウ畑の植樹から開始した。2人の創業者の家族が経営する企業で、今ではワイン製造においてはアルメニア最大手。現在では、数々の受賞歴のあるワインと最先端の設備を備えたワイナリーを有する、アルメニア近代ワイン醸造の象徴的存在。土着品種と国際品種をブレンドしたワインも製造し世界へアピールしている。高品質ワイン分野における国内市場のリーダーであり、アルメニア産ワイン輸出のトップ企業である。日本へも輸出されている。</p> <p>公式サイト：https://www.armeniawine.am/en</p>